

JAAS News 第146号をお届けします

一般社団法人シニア社会学会・事務局 2011年7月22日

＜ もくじ ＞	ページ
1. 連続講座『人生の秋を楽しく健やかに』参加申込み受け付け中	1
2. 2011年大会パネルディスカッション報告	1
3. あしなが育英会に支援金を届けました	2
4. 研究会報告	3
5. 袖井会長、総理大臣表彰を受ける	3
6. シニアニュース	3

1. 連続講座『人生の秋を楽しく健やかに』参加申込み受け付け中

本年（2011年度）の連続講座について参加者の申し込みを受け付けています。参加講座は各回ごとに自由にお選びいただけます。従来と同様、6回全講座の一括申し込みも割引参加費にてお受けします。（一括申込みの場合、参加費は前納をお願いします）

ホームページでも随時お知らせしますのでご参照ください。お申し込みもできます。

《2011年度 シニア社会学会・連続講座参加者募集（ケーキ、コーヒーor紅茶付き）》

（1）全体テーマ：『人生の秋を楽しく健やかに』

各回テーマと講師

- ・第1回 2011年9月10日（土）「終の棲家の見つけ方」（袖井孝子）
- ・第2回 2011年10月8日（土）「太極拳を楽しもう」（大熊宏子）
- ・第3回 2011年11月12日（土）「元気の素は音楽から」（牧野俊浩）
- ・第4回 2011年12月10日（土）「旅をしながら学ぼう」（大社 充）
- ・第5回 2012年1月14日（土）「上手に使おう介護保険」（沖藤典子）
- ・第6回 2012年2月18日（土）「終活のためのエンディングノート」（筑摩孝雄）

（2）場 所：東京銀座・資生堂 9Fホール

（3）開催要領：各回とも、14時～16時の開催。募集人数は最大45名。

各回の参加費は、会員2500円、非会員3000円。

6回分一括前納の場合、会員12000円、非会員15000円。

（6回分一括の申し込みは、9月2日（金）までの受け付けとします）

※お申し込みは、①お名前、②参加講座、③連絡先を明記し、eメール、FAXで事務局まで。

※参加費は当日、会場にてお支払いください。（一括申込みは事前のお振込をお願いします）

※各回ごとにJAAS NewsやHPで随時お知らせいたしますが、ご家族やご友人などにもお声掛けをお願いいたします。多数の方のご参加をお待ちしております。（事務局担当 鈴木）

2. 大会パネルディスカッション「シニアの新しい働き方」 ーパネリストからの提言ー

3名のパネリストの方々の、それぞれの実体験にもとづくお話は説得力があり、なるほどと、うなずかされることばかりでした。松田誠一さんのそれぞれに立派に活動している集団・組織の力と機能をひとつにまとめて、行政の力も借りることで、もっと、相乗効果を上げることができ

るのではないかという行動、久保律子さんの身近な、仲良しクラブのような集まりから、段階を踏んで、社会的な機能を果たす組織へと成長させてゆく手法、塚越教子さんの、集団のなかには、やり手で、どんどん、自分の勢力を伸ばしてゆこうとする人もいる。そういう方には、「少しの間、休んでいただきます」という決断。それぞれに、今後のわたくしたちの活動に役立つお話でした。

◆松田 誠一（NPO法人シービー・シナガワ - 理事・事務局長）

老老介護をしていた母親のいる品川の実家と昭島の自宅との二重生活のなかで、品川の実家を拠点にしたコミュニティビジネス中間支援組織「シービー・シナガワ」では、地元・地縁組織の「小学校同窓会」「町内会」に密着し、それと外部のテーマコミュニティ（健康生きがい開発財団など）、さらには、品川区の行政の力と地域の担い手である健康づくり推進委員・民生委員などをつなげてゆくことが、最大のテーマである。

◆久保 律子（NPO法人シニアSOHO普及サロン三鷹 - 代表理事）

この会の目的は、シニアの地域ビジネス参加への基盤づくりである。事業の内容は、大きく三つに分けられる。①IT技術の習得 ②ベンチャーを目指しての相互交流とそれによる自己発見 ③スキルの情報発信とそのマッチング。草の根のクラブ「パソコン勉強会」からスタートし、通産省の「シニアベンチャー支援事業」の任意団体となり、現在の「特定非営利活動法人（NPO法人）」として、認可されるに至っている。

◆塚越 教子（NPO法人くらし協同館なかよし - 理事長）

茨城県ひたちなか市で、05年10月から、住民の要望によって、閉店した生協の跡地で、生協の支援も受け、市民が主体となってさまざまな事業を展開している。市民の買い物の場となる各種の店舗はもちろん、食事や喫茶のサロン、健康講座、趣味の講座、季節の行事、コンサート、食事会、子育て支援、生活サポートなど、その活動は多岐にわたっている。最近では、新しい形のコミュニティとして、地域に定着しつつある。

3. あしなが育英会に支援金を届けました

東日本大震災からはや4カ月。一部には復興のきざしも見え始めましたが、今なお行方の知れない家族を探し求める人、不自由な避難所生活を強いられている人、政府の方針がなかなか決まらないために将来に向けて一歩踏み出せない人などがたくさんいます。

とりわけ憂慮されるのは、津波や地震によって親を失った子どもたちが被った心の傷と将来への不安です。正確な数字は把握されていませんが、父親または母親、あるいは両親とも失った子どもの数は二千人にのぼると言われています。

次世代の育成を活動目標の一つに掲げるシニア社会学会は、親を失った子どもたちの未来を支えるために少しでもお役にたちたいと、会員から支援金を募りました。被災地への支援は、今後



とも継続する予定ですが、とりあえず集まったお金 263,100 円の目録を7月5日（火）に、武者忠子理事、島村健次郎監事、私（袖井孝子会長）の三人で、あしなが育英会の東京本部に出向き、吉田和彦事務局長にお渡しいたしました。また、山北洋二常勤監事からは、長時間にわたり、あしなが育英会の活動についてご説明いただきました。

あしなが育英会では、東日本大震災で保護者が亡くなったり、行方不明になった子どもたちのために、①0歳から大学院生までに「特別一時金」の給付、②高校、大学生などの「特例奨学金」の貸与、③心のケアのために「あしなが東北レインボーハウス（仮称）」建設予定、④支援のための拠点として「あしなが育英会東北事務所」を4月11日に開設などの活動を行っています。

皆様方からの支援金は、こうした活動の一助となるものです。千年に一度といわれる大災害から立ち直るには、まだまだ長い年月が必要です。引き続きこれからも、会員の皆様方からご支援を賜りますようお願い申し上げます。（2011年7月7日 会長・袖井孝子 記）

4. 研究会報告

□第50回社会保障研究会報告

- 1) 日時：2011年6月23日（木）
- 2) 場所：高齢者生活協同組合会議室
- 3) 講師：堀田聰子（独立行政法人日本労働研究・研修機構研究員）
- 4) テーマ：オランダにおける認知症の人と介護者の統合ケア

ーミーティングセンターとアルツハイマー・カフェー

オランダの介護保険制度は、医療保険制度の一つである特別医療費保険制度（AWBZ）である。AWBZ は長期間、医療や介護を必要とする人を対象とし、年齢制限はない。給付を受ける際には、審査機関によって給付の必要性、サービスの種類・量について審査される。給付は治療やサービスなどの現物給付の他に現金給付も組み合わせることができる。ただし、家事援助は給付の対象にはならない。家事援助は社会支援法によって自治体から給付されている。この社会支援法（Wmo）には、介護家族へのサポートサービスも含まれる。認知症者のケアの一つに、Wmo や当事者団体であるアルツハイマー・ネザーランドが資金援助をするアルツハイマー・カフェという通所施設があり、認知症患者や介護家族のための無料の講演プログラムや交流の機会が提供され、参加者の満足度はきわめて高い。（林葉子 記）

5. 袖井会長、総理大臣表彰を受ける

当学会の袖井孝子会長が去る6月27日に、男女共同参画社会づくり功労者として内閣総理大臣表彰を受けました。これは、毎年6月の男女共同参画週間の記念行事の一環で、全国各地で長年にわたり男女共同参画に貢献してきた人を表彰するものです。今年は、9人が選ばれました。

例年ならば、午前に官邸での表彰式、午後には記念のシンポジウム、夕方から官邸でのパーティと盛りだくさんの行事がありますが、東日本大震災のため、シンポジウムもパーティも自粛。おまけに内閣改造人事のごたごたで菅直人総理は欠席し、与謝野馨男女共同参画担当大臣から賞状をいただきました。

お祝いごとといえは、6月16、17日に開催された日本老年社会学会で澤岡詩野理事が奨励賞を受賞しました。また、菊池いづみ会員が社会政策学会と福祉社会学会から表彰されました。シニア社会学会には、素晴らしい人材がそろっていることを誇らしく思います。

6. シニアニュース

(1) 濱口副会長講演のご案内

会員の佐伯信夫さんが主宰する NPO 法人ビューティフルエイジング協会の「第2回シニアいきいきライフセミナー」(当学会後援)で、当学会の濱口副会長が下記の通り講演されます。

- 1) 日時 : 2011年9月5日(月) 13:30~16:00
- 2) 会場 : 相模原市立総合学習センター
- 3) 演題 : 生きがいさがし~自立と共生~
- 4) 参加費 : 1,000円
- 5) 申込先 : NPO 法人ビューティフルエイジング協会

〒252-0333 相模原市南区東大沼 4-14-12 グリーンハイツ 2-1

- 6) 締切 : 2011年8月31日(水)

7) 問合せ先：090-2748-6658

(2) 公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団セミナー

ダイヤ高齢社会研究財団(当学会団体会員)主催のシンポジウム(当学会後援)をご紹介します。

- ・テーマ：座長：人間総合科学大学教授 柴田 博氏(当学会会員)
「はつらつとしたセカンドライフを送るために～高齢期のメンタルヘルス向上について～」
- ・開催日時：2011年9月15日 13:30～16:30
- ・開催場所：新宿区立牛込笹塚区民ホール
- ・概要 基調講演
 - ①「高齢期のこころの健康について～うつを中心に」新野直明・桜美林大学教授
 - ②「知っておきたいハッピースキル～うつ予防の視点から」 兪 今・ダイヤ財団主任研究員
実技編 「脳の活性化、ストレス解消に役立つリラクゼーション法」(聴衆参加の実技)
- ・参加費：無料
- ・一般公募300人

(3) 富良野自然塾

作家・倉本聰氏(当学会会員)が主宰する富良野自然塾では、今年も、自然や環境活動に関心をお持ちの方々を対象とした「シニアのための自然・環境研修会」を開催します。自然環境関連の仕事やボランティア活動などに関心を持つ方にとって、地球環境問題の基礎を学べる自然塾の研修は役に立つかと思しますので、ご紹介します。

<募集要項>

- ・開催日程：2011年10月8日(土)～10日(月・祝) 2泊3日
- ・場所：富良野自然塾フィールド
- ・募集人数：20名程度 年齢：原則として50歳以上
- ・応募方法：簡単な履歴書(住所、氏名、年齢、電話番号、学歴、職歴など) 作文「私がやりたい定年後の仕事」(400字以内)
※メールまたは郵送にて富良野自然塾までお送りください。(応募者多数の場合抽選)
- ・参加費：10,000円(交通費、食費、宿泊費は本人負担)
- ・応募締め切り：2011年9月9日(金)

<研修内容>

- ・倉本塾長講義：「富良野自然塾の理念 ～僕が森をつくる理由～」
- ・講義：「地球環境の現状と問題点」他
- ・フィールド研修：「環境教育プログラム」(インストラクター実技を含む)
「植樹関連プログラム」(種、育苗、植樹などの実技を含む)
- ・その他：「五感プログラム」「闇の教室」など

一般社団法人シニア社会学会・事務局 (月・水・金オープン)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX：(03) 5778-4728
E-mail：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>

※ 8/13(土)～18(木)の間、事務局はお休みいたします